

C-12 Commercial Pattern と Drafted Pattern の比較研究 (第1報)

Patternの使用状況の実態調査とCommercial Patternの市場調査

名古屋女大家政生研 古川智恵子 加藤恵子・後藤喜恵 塚有井子 松井章子

目的 最近、服飾メーカー、ミシンメーカー、服飾雑誌等によるCommercial Patternの普及がめざましい。我々被服構成指導の立場から時代に即応した能率的で、より着用者の体型、個性に調和したPattern作成をみい出す手がかりとして、Commercial PatternとDrafted Patternを比較検討するため、今回は本学学生及び各家庭洋裁におけるCommercial Patternの使用状況の実態を把握するとともに、各種Commercial Patternの市場調査を行ない今後の基礎資料にすることを目的とした。

- 方法 1). 本学短大家政科学生を対象に質問紙法による調査、集計考察した。
2). 本学学生の家庭を中心にその母親、姉等に質問紙法による調査、集計考察した。
3). 各メーカーのPatternを収集し、比較検討した。

結果 1). 学生の中・高におけるPattern使用状況では、中学はCommercial Pattern、高校ではDrafted Patternが多くみられた。またスカートについては、Commercial Patternをそのまま使用した者が殆ど以上みられ、Patternの補正は安易な箇所のみが多く、パーツにおいては極くわずかな補正のみみられた。

- 2). 家庭洋裁に用いられるPattern使用状況では雑誌付録がほとんどを占め、使用服種別では基本型スカートが最も多くみられた。これらのPattern使用による着用感は、ほとんどが満足感をもっていた。3). 市場調査における各社Commercial Patternの表示サイズは統一がなく使用者にとって選択が困難であると考えられた。